

黒田装束店について・・・

京都御苑・堺町御門前に店を構え、江戸初期より装束を調進し、仕立てから衣紋（着付け）まで一貫して携わっております。

当主は代々「丹波屋平七」を襲名してきましたが、明治維新以後「黒田」姓を名乗るようになりました。

京都では葵祭・時代祭・稻荷祭・吉田神社追儺式などの装束を調進。正確な時代考証に基づいて行い、京都の伝統行事を支え続けてきました。

現在では、研究資料として博物館・大学からも依頼を受け、有職故実に則った装束文化の発展に努めております。

